

# 授業ヒントシート

## ～TAYOU 風よい動きの花を添えて～

### ●目的

・授業を振り返り、全体的な児童の学習状況の把握し、教師の指導改善を行う。 ・「よい動き」を理解した上で指導の充実を図る。

#### ①本時を振り返る（左ページ）

- ・本時の授業の児童の様子や全体的にめあてを達成していたかを思い出す。  
達成 →児童がこつを見付けられていたか、いろいろ工夫をしていたか  
思い出す。  
未達成 →児童ができなかった理由とそれに伴う授業者の支援方法は  
適切だったか思い出す。  
※それぞれ具体的にできる限り思い出し、振り返る。

#### ②本時を振り返る（右ページ）

- ・よい動きの花シートをもとに、本時で出現した動きやそのこつなどを整理する。

#### ここがポイント

- ・動きの出現に順序性はなし。
- ・花びらの外の動きは出現しても取り上げない。否定せず見過ごす（安全面は注意!）。
- ・児童は自由に遊んでいる感覚! 花びらの動き、葉のこつ、根の態度を見付けて紹介する。決して動きを強制しないこと。
- ・花びらの内側の動きから取り上げていく。

#### よい動きの出現のさせ方

- ①まずは、自然に出てきた動きを称賛する!
- ②意図的に動きを引き出す!  
（「こんな動きできるかな?」）  
※工夫が組み合わせられればさらにより動き!  
例) バックスピンをかけてフープを跳ぶなど

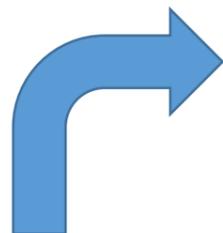
#### ③学習カードの記述を把握

- ・児童一人一人の振り返りを把握する。一言ずつコメントを入れるとともに、授業の中で拾いきれなかった児童の思いや姿を理解し指導改善につなげる。
- ・次時の最初に紹介する3観点の内容としてもピックアップしておく。

#### ④次時の計画を立てる

- ・次時で動きに広がりをもたせるために、どの工夫の視点を重点として指導するのかそれらの動き、こつをどう共有していくかを考え計画を立てる。
- ・単元を通して、よい動き表の花の内容がまんべんなく網羅されればオッケー!

# 授業ヒントシート 【フープ・回す】(低・中学年)



## まずは、児童全員をこの姿に!!

### 知識及び運動 (花の中心・葉)

(低) フープを手首や腰を軸にして回す。  
(中) フープを回しながら、歩いたり走ったりする。  
※上の動きがぎこちなくても、できていればOK

### 思考力・判断力・表現力等 (花びら)

○運動の行い方を選んだり、工夫したりしている。  
○友達のよい動きを見付けたり、行い方を選んだりしたことを伝えている。  
Ⓧ動きの組み合わせ方を選んでいる。

### 学びに向かう力・人間性等 (根)

○進んで運動に取り組んでいる。  
○きまりを守り、誰とでも仲よく運動している。  
○場や用具の安全に気を付けている。(※用具は中学年)  
Ⓧ友達の考えを認めている。



## 得意な児童にはこうしよう!

### 知識及び運動

- こつ(葉)を意識させる
  - 腕を大きく回しすぎない
  - 一定のリズムで回す
  - 何度でも繰り返し回せる
  - 回したフープのリズムに合わせて移動する
- 行い方の工夫(花びら)を広げる
  - 人数を増やして  
「友達と一緒にやってみよう。」
  - 姿勢や向きを変えて  
「腕(腰や足)でも回せる?」
  - 用具を変えて  
「違う大きさのフープでもできる?」
  - Ⓧ移動の仕方を変えて  
「後ろ向きにも進めるかな。」  
「走りながらでも回せる?」

### 思考力・判断力・表現力等

- こつ(葉)を見付けさせる
  - 「どうしたら、もっと上手にできるかな?」
  - 「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな?」
- こつ(葉)を意識させる
  - 「〇〇さんが紹介してくれたこつをやってみよう。」
  - 「友達に何を教えてもらったの?」
- 行い方(花びら)を工夫させる
  - 「〇〇さんは、こんな動きをしていたよ。」
  - 「～な動きはできるかな?」

### 学びに向かう力・人間性等

- 他者に伝える力を付ける
  - 「〇〇さんができるようにするには何て伝えてあげたらいい?」
  - 「〇〇さんと□□さんは、アドバイス合っていていいね。」
  - 「〇〇さんにもこつを教えてあげよう。」
- 仲間の取組を認めさせる
  - 「〇〇さんの動きのいいところはどこだろう。」

## 苦手な児童にはこうしよう!

### 知識及び運動

- こつ(葉)をつかませる言葉掛け
  - フープを回すことができない  
→「一緒に回してみよう。先生(友達)と手をつないでみて。」
  - 「はじめに勢いをつけて回そう。」
  - Ⓧフープを回しながら移動できない  
→「まずは、止まってフープを回してごらん。」
- できそうな動きを選択させる
  - 姿勢や向きを変えて  
→「一度、違うところでも回してみない?」
  - 用具を変えて  
→「小さな(大きな)フープに変えてみよう。」
  - 移動の仕方を変えて  
→「まずはゆっくり進んでごらん。」
  - 「フープと散歩してみよう。」
  - \*フープの大きさ、重さ、などを変えて動きを易しくするなど配慮する。

### 思考力・判断力・表現力等

- 行い方を修正させる
  - 「〇〇さんの動きを見てみよう。」
  - 「友達の真似してみよう。」
  - 「もう少し～すると、かっこいい(上手な)動きになるよ。」
- こつ(葉)を見付けさせる
  - 「〇〇さんの動きを見てごらん。」
  - 「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな?」

### 学びに向かう力・人間性等

- 仲間の取組を認めさせる
    - 「〇〇さん、～さんがとっても上手に回しているよ、一緒にやってみよう。」
    - 「失敗しても諦めない〇〇さん、かっこいい!」(本人に対して)
    - 「〇〇さんは何度もチャレンジしているね。」(周りに目を向けさせる。)
    - 「誰とでも仲良くできる〇〇さん、すてき!」
- \*友達と一緒に運動(遊び)に取り組むことで、気持ちが弾んでくることを実感させたり、意欲が感じられたりするつぶやきや動きを取り上げて共感する。

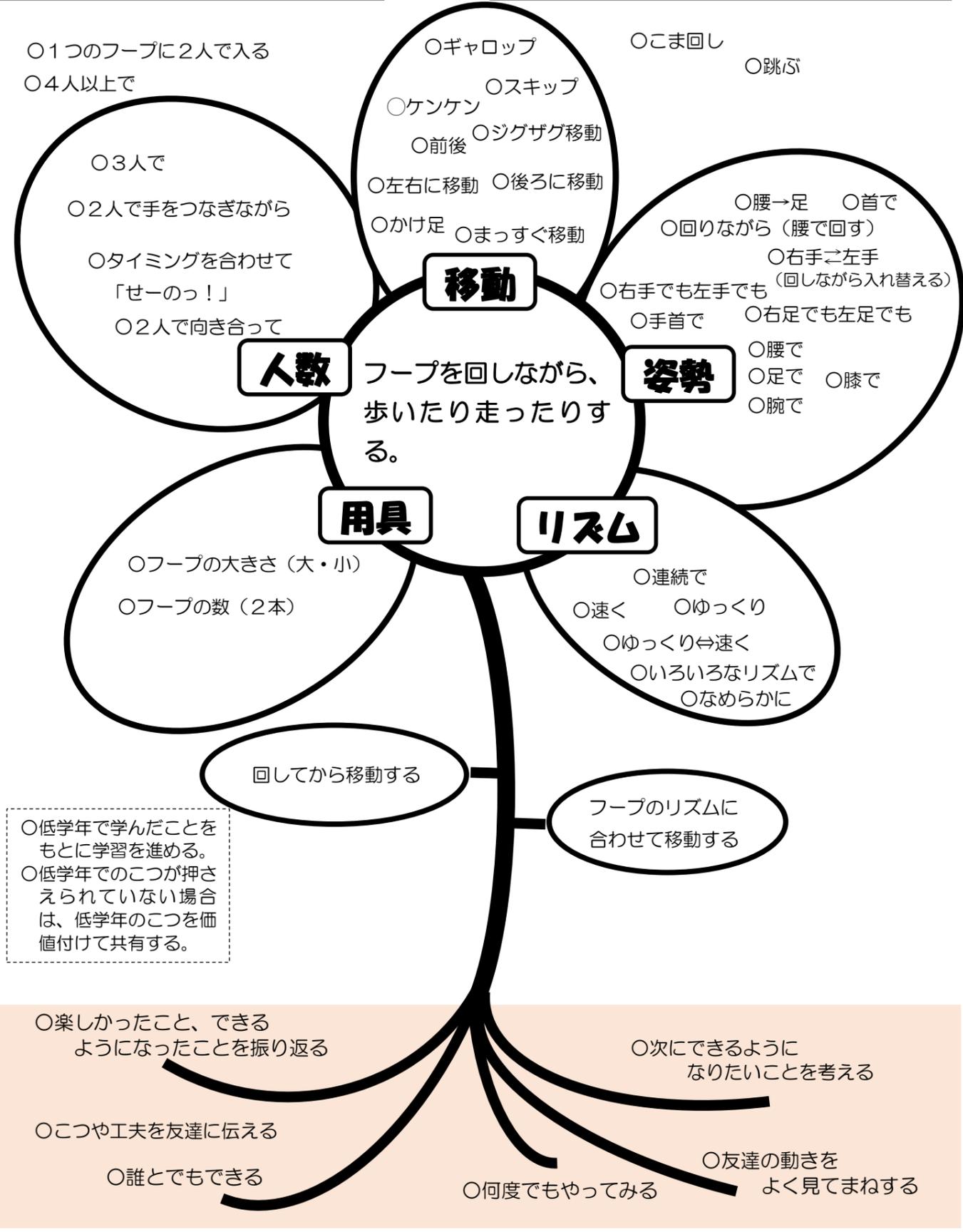
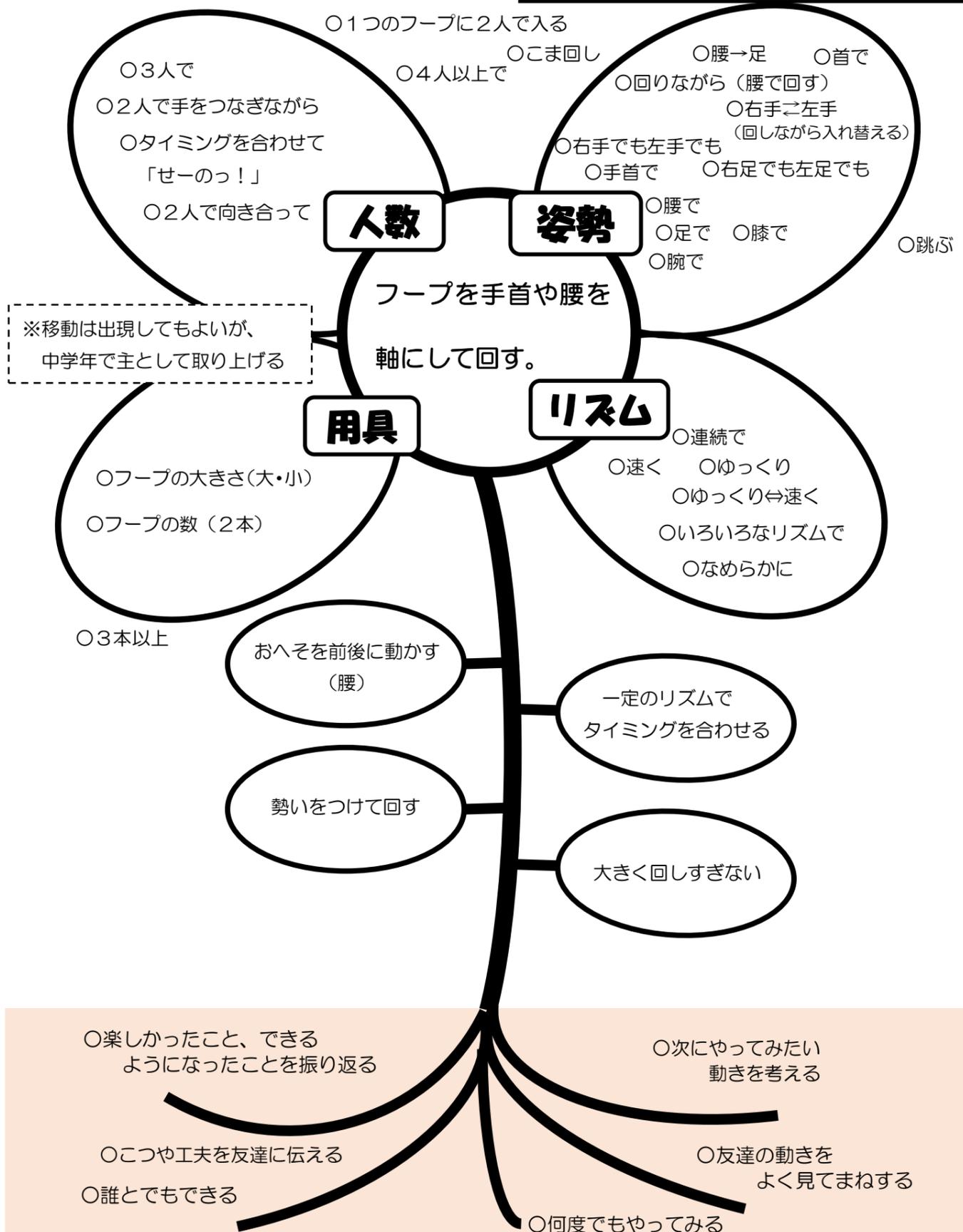
# よい動きの花 (フープを回す)

中央…もとの動き (例示の動き)

花びら…行い方の工夫 葉…動きのこつ  
根…価値付けしたい姿

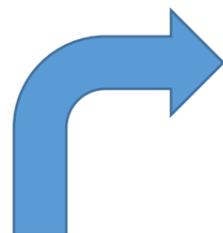
中央…もとの動き (例示の動き)

花びら…行い方の工夫 葉…動きのこつ  
根…価値付けしたい姿



# 授業ヒントシート

## 【フープ・転がす】(低・中学年)



### まずは、児童全員をこの姿に!!

#### 知識及び運動 (花の中心・葉)

- フープを倒れないように転がす。
  - (中) フープを転がし、転がるフープの中をくぐり抜けたり跳び越したりする。
- ※上の動きがぎこちなくても、できていればOK

#### 思考力・判断力・表現力等 (花びら)

- 運動の行い方を選んだり、工夫したりしている。
- 友達のよい動きを見付けたり、行い方を選んだりしたことを伝えている。
- Ⓜ動きの組み合わせ方を選んでいる。

#### 学びに向かう力・人間性等 (根)

- 進んで運動に取り組んでいる。
- きまりを守り、誰とでも仲よく運動している。
- 場や用具の安全に気を付けている。(用具は中学年)



### 得意な児童にはこうしよう!

#### 知識及び運動

- こつ(葉)を意識させる
  - フープを後ろから前になでるように転がす
  - フープをまっすぐ立てて、ねらいを定める
  - フープの横に立つ
  - 転がしたい距離や速度に合わせて、強さを調整する
  - Ⓜ転がしてから移動する
  - Ⓜ転がるフープのスピードに合わせて移動する
  - Ⓜ前に跳び越す
  - Ⓜ先回りして待ち、低い姿勢で勢いよくぐる

#### ●行い方の工夫(花びら)を広げる

- 人数を増やして  
「友達と一緒にやってみよう。」
- 姿勢や向きを変えて  
「腕(腰や足)でも回せる?」
- 用具を変えて  
「違う大きさのフープでもできる?」
- Ⓜ移動の仕方を変えて  
「後ろ向きにも進めるかな。」
- 「自分で転がしてくるかな?」

#### 思考力・判断力・表現力等

- こつ(葉)を見付けさせる  
「どうしたら、もっと上手にできるかな?」  
「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな?」
- こつ(葉)を意識させる  
「〇〇さんが紹介してくれたこつをやってみよう。」  
「友達に何を教えてもらったらできたの?」
- 行い方(花びら)を工夫させる  
「〇〇さんは、こんな動きをしていたよ。」  
「～な動きはできるかな?」

#### 学びに向かう力・人間性等

- 他者に伝える力を付ける  
「〇〇さんができるようにするには何て伝えてあげたらいい?」  
「〇〇さんと□□さんは、アドバイス合っていていいね。」  
「〇〇さんにもこつを教えてあげよう。」
- 仲間の取組を認めさせる  
「〇〇さんの動きのいいところはどこだろう。」

### 苦手な児童にはこうしよう!

#### 知識及び運動

- こつ(葉)をつかませる言葉掛け  
○フープを転がすことができない  
→「一緒に転がしてみよう。先生(友達)とフープを押さえて、後ろから前になでるように転がそう。」  
→「フープの横に立ってみよう。」  
Ⓜフープを転がしながら、転がしたフープの中をくぐり抜けたり、跳び越したりできない  
→「まずは、転がしてから移動してごらん。」
- できそうな動きを選択させる。  
○姿勢や向きを変えて  
→「一度、体を横向きにして転がしてごらん。」
- 用具を変えて  
→「小さな(大きな)フープに変えてみよう。」
- 移動の仕方を変えて  
→「後ろ移動できるかな?」  
→「自分で転がしてくるかな?」
- \*フープの大きさ、重さ、などを変えて動きを易くするなど配慮する

#### 思考力・判断力・表現力等

- 行い方を修正させる  
「〇〇さんの動きを見てみよう。」  
「友達の真似してみよう。」  
「もう少し～すると、かっこいい(上手な)動きになるよ。」  
「やさしい動きからやってみよう。」
- こつ(葉)を見付けさせる  
「〇〇さんの動きを見てごらん。」  
「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな?」

#### 学びに向かう力・人間性等

- 仲間の取組を認めさせる。  
「〇〇さん、～さんがとっても上手に回せているよ、一緒にやってみよう。」  
「失敗しても諦めない〇〇さん、かっこいい!」(本人に対して)  
「〇〇さんは何度もチャレンジしているね。」(周りに目を向けさせる。)
  - 「誰とでも仲良くできる〇〇さん、すてき!」
- \*友達と一緒に運動(遊び)に取り組むことで、気持ちが弾んでくることを実感させたり、意欲が感じられたりするつぶやきや動きを取り上げて共感する。

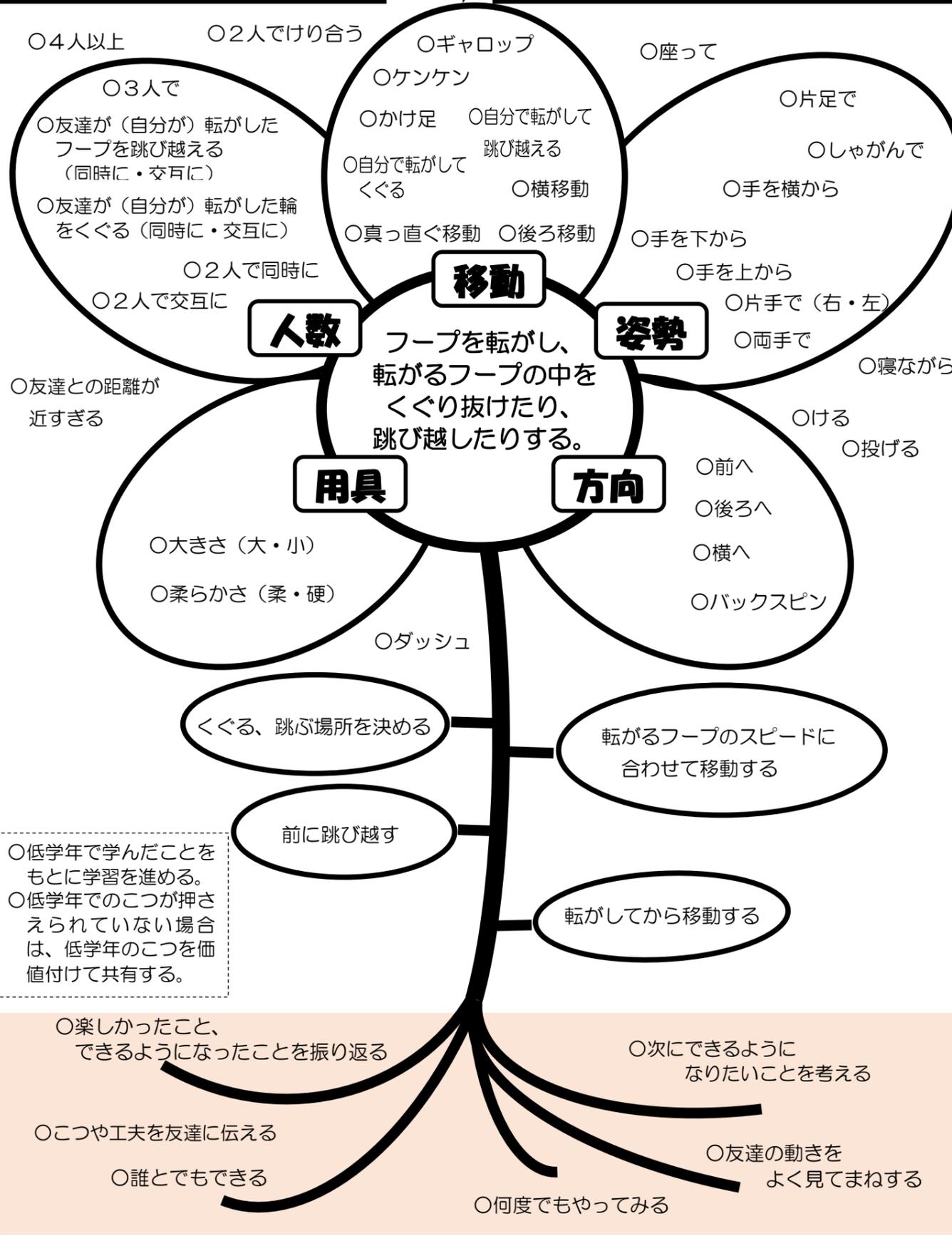
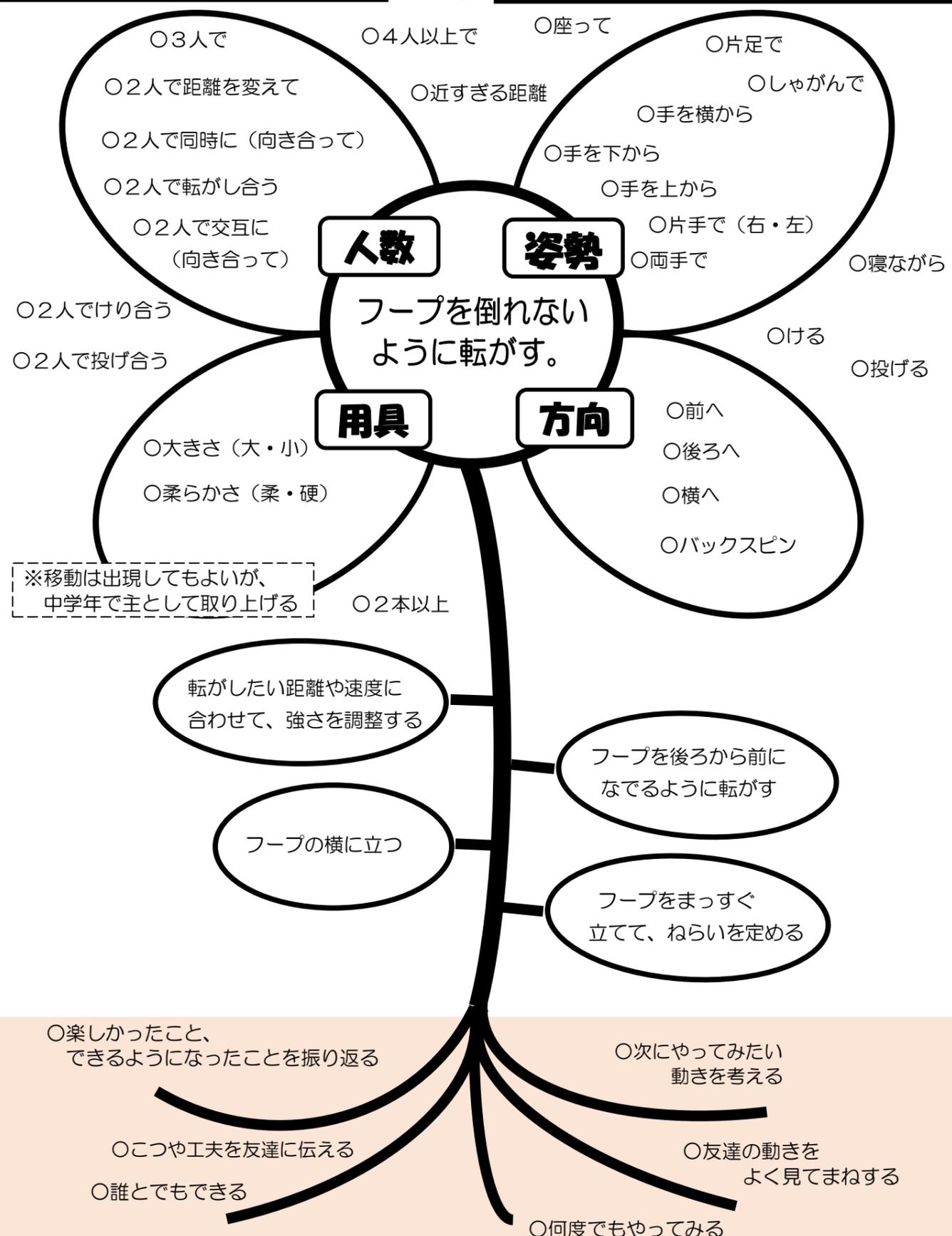
# よい動きの花 (フープを転がす)

中央…もとの動き (例示の動き)

花びら…行い方の工夫 葉…動きのこつ  
根…価値付けしたい姿

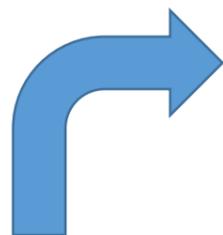
中央…もとの動き (例示の動き)

花びら…行い方の工夫 葉…動きのこつ  
根…価値付けしたい姿



○低学年で学んだことをもとに学習を進める。  
○低学年でのこつが押さえられていない場合は、低学年のこつを価値付けて共有する。

# 授業ヒントシート 【ボール】（低・中学年）



## まずは、児童全員をこの姿に!!

### 知識及び運動（花の中心・葉）

（低）大きさや種類の異なるボールを片手や両手で投げたり、捕ったりする。

（中）いろいろな方向に歩いたり走ったり、その場で回ったりしてから捕る。

※上の動きがぎこちなくても、できていればOK

### 思考力・判断力・表現力等（花びら）

- 運動の行い方を選んだり、工夫したりしている。
- 友達のよい動きを見付けたり、行い方を選んだりしたことを伝えている。
- Ⓜ動きの組み合わせ方を選んでいる。

### 学びに向かう力・人間性等（根）

- 進んで運動に取り組んでいる。
- きまりを守り、誰とでも仲よく運動している。
- 場や用具の安全に気を付けている。（※用具は中学年）
- Ⓜ友達の考えを認めている。



## 得意な児童にはこうしよう!

### 知識及び運動

- こつ（葉）を意識させる
  - 手のひらを上に向けてふわっと捕る
  - 腕や膝を曲げて柔らかく捕る
  - 手のひらを上に向けて下から上に投げる
  - 投げてから捕るまでボールをよく見る
  - Ⓜてのひらを投げたい方向に傾けて投げる
  - Ⓜ投げたいところをよく見て投げる
- 行い方の工夫（花びら）を広げる
  - 人数を増やして  
「友達と一緒にやごらん。」
  - 姿勢や向きを変えて  
「手を叩いてから捕れる?」
  - 用具を変えて  
「違う大きさのボールでもできる?」
  - Ⓜ移動の仕方を変えて  
「前へ進みながらでも捕れるかな。」  
「スキップしても捕れる?」

### 思考力・判断力・表現力等

- こつ（葉）を見付けさせる
  - 「どうしたら、もっと上手にできるかな?」
  - 「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな?」
- こつ（葉）を意識させる
  - 「〇〇さんが紹介してくれたこつをやってみよう。」
  - 「友達に何を教えてもらったらできたの?」
- 行い方（花びら）を工夫させる
  - 「〇〇さんは、こんな動きをしていたよ。」
  - 「～な動きはできるかな?」

### 学びに向かう力・人間性等

- 他者に伝える力を付ける
  - 「〇〇さんができるようにするには何て伝えてあげたらいい?」
  - 「〇〇さんと□□さんは、アドバイス合っていていいね。」
  - 「〇〇さんにもこつを教えてあげよう。」
- 仲間の取組を認めさせる
  - 「〇〇さんの動きのいいところはどこだろう。」

## 苦手な児童にはこうしよう!

### 知識及び運動

- こつ（葉）をつかませる言葉掛け
  - ボールを捕ることができない  
→「ボールをよく見てみよう。」  
→「手のひらを上に向けてみよう。」
  - Ⓜボールを動いて捕ることができない  
→「まずは、手のひらを投げたい方向に傾けて投げてみよう。」
- できそうな動きを選択させる
  - 姿勢や向きを変えて  
→「まずは、両手でボールを捕ってみよう。」
  - 用具を変えて  
→「小さな（大きな）ボールにしてみよう。」
  - Ⓜ移動の仕方を変えて  
→「まずは前へ進んでから捕ごらん。」
  - \*ボールの大きさ、重さ、などを変えて動きを易しくするなど配慮する。

### 思考力・判断力・表現力等

- 行い方を修正させる
  - 「〇〇さんの動きを見てみよう。」
  - 「友達の真似してみよう。」
  - 「もう少し～すると、かっこいい（上手な）動きになるよ。」
  - 「やさしい動きからやってみよう。」
- こつ（葉）を見付けさせる
  - 「〇〇さんの動きを見てごらん。」
  - 「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな?」

### 学びに向かう力・人間性等

- 仲間の取組を認めさせる
  - 「〇〇さん、～さんがとっても上手に回しているよ、一緒にやってみよう。」
  - 「失敗しても諦めない〇〇さん、かっこいい!」（本人に対して）
  - 「〇〇さんは何度もチャレンジしているね。」（周りに目を向けさせる。）
  - 「誰とでも仲良くできる〇〇さん、すてき!」
- \*友達と一緒に運動（遊び）に取り組むことで、気持ちが弾んでくることを実感させたり、意欲が感じられたりするつぶやきや動きを取り上げて共感する。

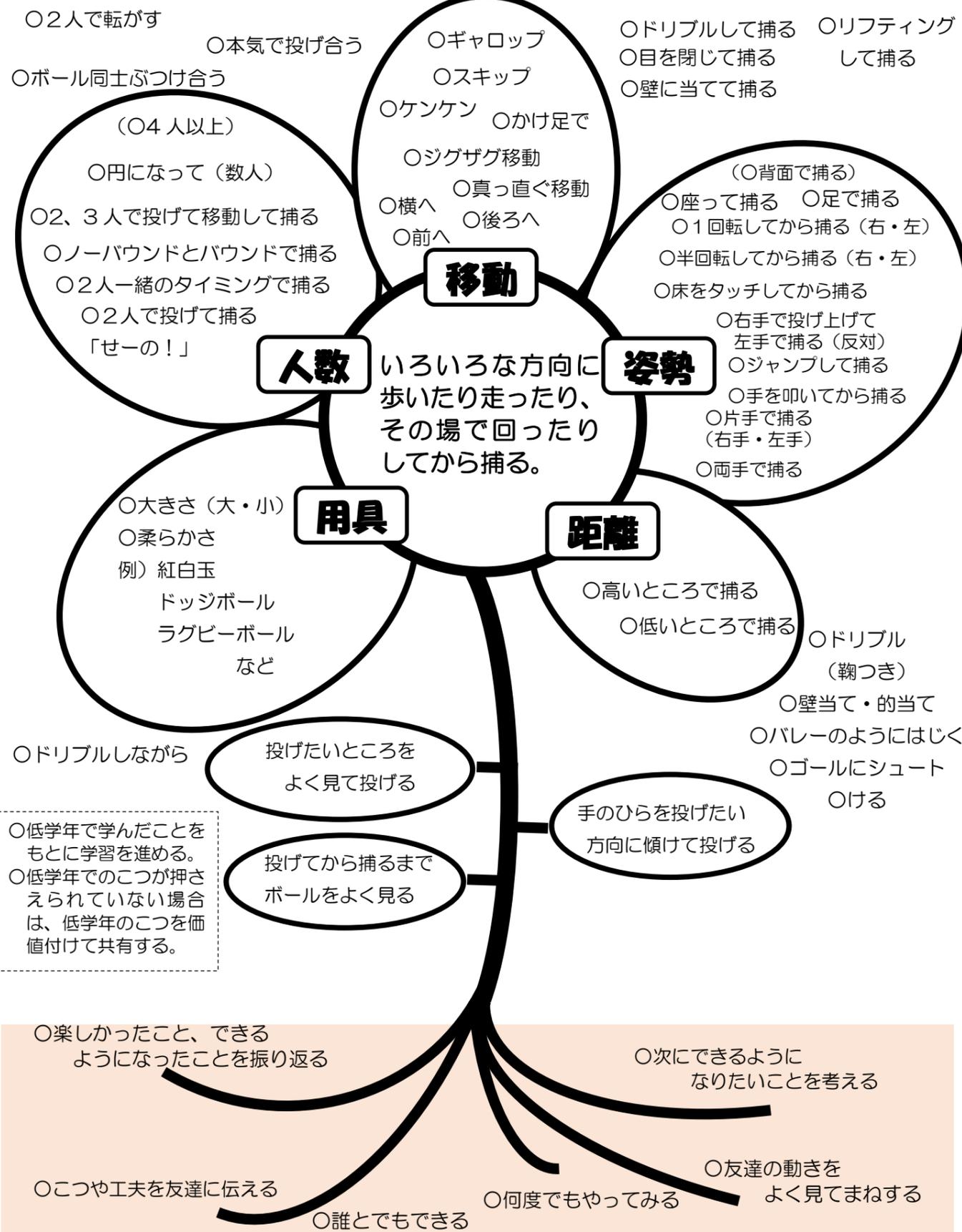
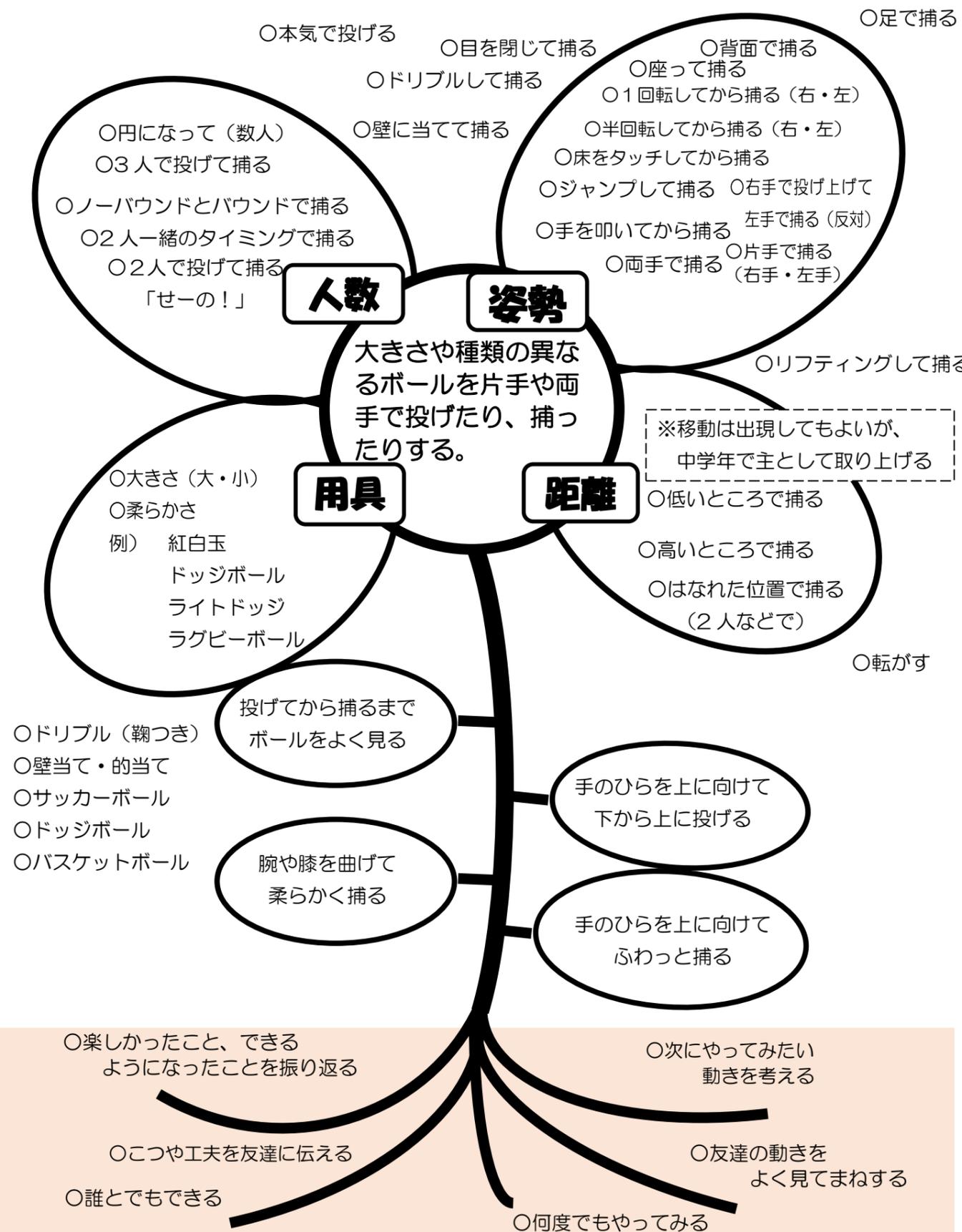
# よい動きの花 (ボール)

中央…もとの動き (例示の動き)

花びら…行い方の工夫 葉…動きのこつ  
根 …価値付けしたい姿

中央…もとの動き (例示の動き)

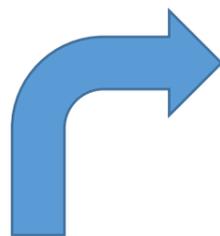
花びら…行い方の工夫 葉…動きのこつ  
根 …価値付けしたい姿



※移動は出現してもよいが、中学年で主として取り上げる

○低学年で学んだことをもとに学習を進める。  
○低学年でのこつが押さえられていない場合は、低学年のこつを価値付けて共有する。

# 授業ヒントシート 【短なわ】（低・中学年）



## まずは、児童全員をこの姿に!!

### 知識及び運動（花の中心・葉）

（低）揺らしたり、回旋したり、前や後ろの連続両足跳びをしたりする。

（中）いろいろな方向に歩いたり、走ったりその場で回ったりしてから捕る。

※上の動きがぎこちなくても、できていればOK

### 思考力・判断力・表現力等（花びら）

○運動の行い方を選んだり、工夫したりしている。

○友達のよい動きを見付けたり、行い方を選んだりしたことを伝えている。

⊕動きの組み合わせ方を選んでいる。

### 学びに向かう力・人間性等（根）

○進んで運動に取り組んでいる。

○きまりを守り、誰とでも仲よく運動している。

○場や用具の安全に気を付けている。（※用具は中学年）

⊕友達の考えを認めている。



## 得意な児童にはこうしよう!

### 知識及び運動

#### ●こつ（葉）を意識させる

- 手首で回す
- つま先で跳ぶ
- 一定のリズムで跳ぶ
- 脇をしめて跳ぶ
- ⊕移動したい方向を見る
- ⊕回してから移動する
- ⊕移動したい方向に跳ぶ

#### ●行い方の工夫（花びら）を広げる

- 人数を増やして  
「友達と一緒にやごらん。」
- 姿勢や向きを変えて  
「片足でも跳べる?」
- リズムを変えて  
「遅い・速いリズムでもできる?」
- ⊕移動の仕方を変えて  
「後ろ向きにも進めるかな。」  
「くねくね移動しながら跳べる?」

### 思考力・判断力・表現力等

#### ●こつ（葉）を見付けさせる

- 「どうしたら、もっと上手にできるかな?」
- 「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな?」

#### ●こつ（葉）を意識させる

- 「〇〇さんが紹介してくれたこつをやってみよう。」
- 「友達に何を教えてもらったらできたの?」

#### ●行い方（花びら）を工夫させる

- 「〇〇さんは、こんな動きをしていたよ。」
- 「～な動きはできるかな?」

### 学びに向かう力・人間性等

#### ●他者に伝える力を付ける

- 「〇〇さんができるようにするには何て伝えてあげたらいい?」
- 「〇〇さんと□□さんは、アドバイス合っていていいね。」
- 「〇〇さんにもこつを教えてあげよう。」

#### ●仲間の取組を認めさせる

- 「〇〇さんの動きのいいところはどこだろう。」

## 苦手な児童にはこうしよう!

### 知識及び運動

#### ●こつ（葉）をつかませる言葉掛け

- 短なわを跳ぶことができない  
→「手首で回してみよう。」  
→「つま先で跳んでみよう。」
- ⊕跳びながら移動できない  
→「まずは、回してから移動してみよう。」

#### ●できそうな動きを選択させる

- 姿勢や向きを変えて  
→「一度、片足だけで跳んでごらん。」  
→「一度、後ろ跳びしてごらん。」
- リズムを変えて  
→「ゆっくりと跳んでみよう。」  
→「速く跳んでみよう。」
- ⊕移動の仕方を変えて  
→「まずは回してから移動してごらん。」
- \*跳び越す位置や動き方を示したり、かけ声によってタイミングを合わせるができるようにしたりする。

### 思考力・判断力・表現力等

#### ●行い方を修正させる

- 「〇〇さんの動きを見てみよう。」
- 「友達の真似してみよう。」
- 「もう少し～すると、カッコいい（上手な）動きになるよ。」
- 「やさしい動きからやってみよう。」

#### ●こつ（葉）を見付けさせる

- 「〇〇さんの動きを見てごらん。」
- 「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな?」

### 学びに向かう力・人間性等

#### ●仲間の取組を認めさせる

- 「〇〇さん、～さんがとっても上手に回しているよ、一緒にやってみよう。」
- 「失敗しても諦めない〇〇さん、カッコいい!」（本人に対して）
- 「〇〇さんは何度もチャレンジしているね。」（周りに目を向けさせる。）
- 「誰とでも仲良くできる〇〇さん、すてき!」

\*友達と一緒に運動（遊び）に取り組むことで、気持ちが弾んでくることを実感させたり、意欲が感じられたりするつぶやきや動きを取り上げて共感する。

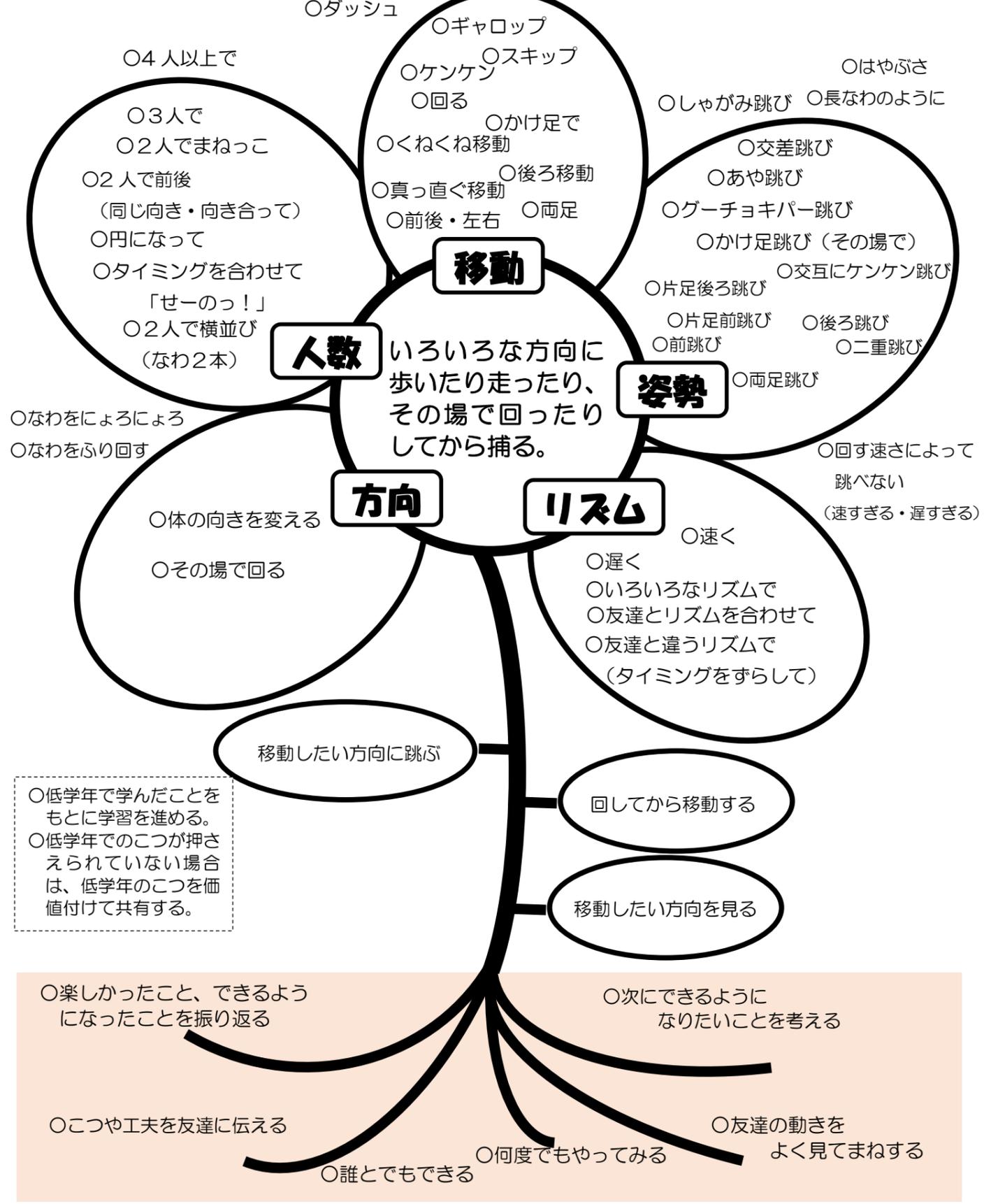
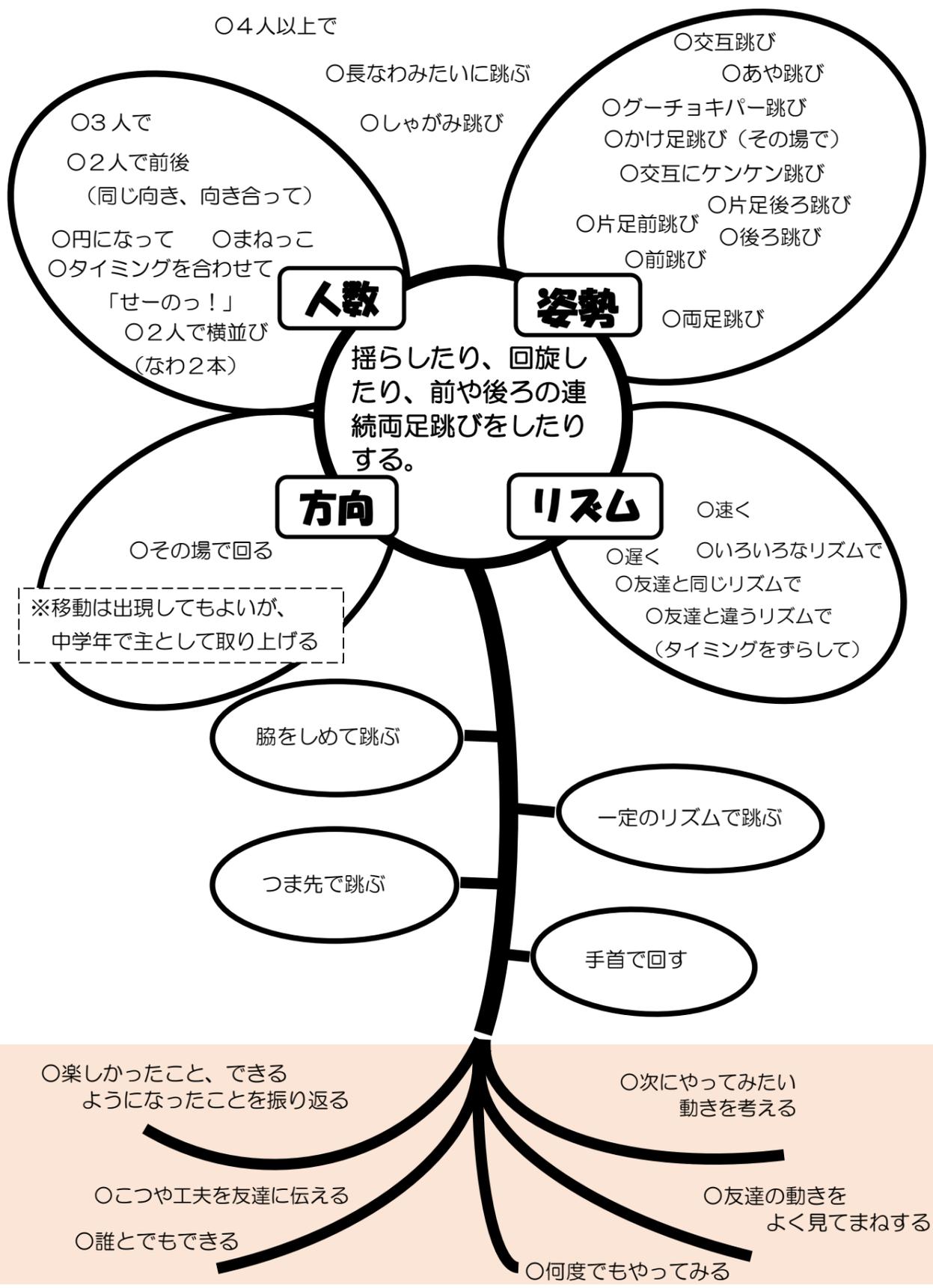
# よい動きの花 (短なわ)

中央…もとの動き (例示の動き)

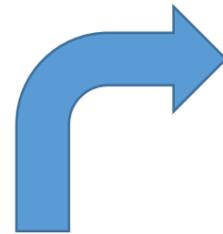
花びら…行い方の工夫 葉…動きのこつ  
根 …価値付けしたい姿

中央…もとの動き (例示の動き)

花びら…行い方の工夫 葉…動きのこつ  
根 …価値付けしたい姿



# 授業ヒントシート 【棒・タオル】（低・中学年）



## まずは、児童全員をこの姿に!!

### 知識及び運動（花の中心・葉）

（低）棒を片手や両手で投げたり、捕ったりする。  
（中）棒やタオルを振ったり、投げたり、すばやく相手と入れ替わって捕えたりする。

※上の動きがぎこちなくても、できていればOK

### 思考力・判断力・表現力等（花びら）

○運動の行い方を選んだり、工夫したりしている。  
○友達のよい動きを見付けたり、行い方を選んだりしたことを伝えている。  
Ⓜ動きの組み合わせ方を選んでいる。

### 学びに向かう力・人間性等（根）

○進んで運動に取り組んでいる。  
○きまりを守り、誰とでも仲よく運動している。  
○場や用具の安全に気を付けている。（※用具は中学年）  
Ⓜ友達の考えを認めている。



## 得意な児童にはこうしよう!

### 知識及び運動

- こつ（葉）を意識させる
  - 腕やひざを曲げて柔らかく捕る
  - 回転しないように両手ではさんで投げる
  - 棒をはさむように両手で捕る
  - よく見て正面で捕る
  - Ⓜ肘を高く上げる
  - Ⓜ手首を柔らかくつかう
  - Ⓜ手を耳の近くにもってくる
  - Ⓜグンと前に勢いよく振る、投げる
- 行い方の工夫（花びら）を広げる
  - 人数を増やして「友達と一緒にやってみよう。」
  - 姿勢や向きを変えて「座ってできるかな？」
  - 用具を変えて「違う棒でもできるかな？」
  - Ⓜ移動の仕方を変えて「スキップしながら振ってみよう。」

### 思考力・判断力・表現力等

- こつ（葉）を見付けさせる
  - 「どうしたら、もっと上手にできるかな？」
  - 「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな？」
- こつ（葉）を意識させる
  - 「〇〇さんが紹介してくれたこつをやってみよう。」
  - 「友達に何を教えてもらったらできたの？」
- 行い方（花びら）を工夫させる
  - 「〇〇さんは、こんな動きをしていたよ。」
  - 「～な動きはできるかな？」

### 学びに向かう力・人間性等

- 他者に伝える力を付ける
  - 「〇〇さんができるようにするには何て伝えてあげたらいい？」
  - 「〇〇さんと〇〇さんは、アドバイス合っていていいね。」
  - 「〇〇さんにもこつを教えてあげよう。」
- 仲間の取組を認めさせる
  - 「〇〇さんの動きのいいところはどこだろう。」

## 苦手な児童にはこうしよう!

### 知識及び運動

- こつ（葉）をつかませる言葉掛け
  - 遠くに投げることができない  
→「ひじを高く上げて投げてみよう。」  
→「先生と一緒に投げてみよう。」
  - Ⓜ強く振ることができない  
→「グンと前に勢いよく振ってみよう。」
- できそうな動きを選択させる。
  - 姿勢や向きを変えて  
→「まずは上に向かって投げてみよう。」
  - 用具を変えて  
→「柔らかい棒に変えてみよう。」
  - 移動の仕方を変えて  
→「ゆっくり歩きながら振ってみよう。」
  - \*棒の長さや柔らかさなどを変えて動きを易くするなど配慮する。

### 思考力・判断力・表現力等

- 行い方を修正させる
  - 「〇〇さんの動きを見てみよう。」
  - 「友達の真似してみよう。」
  - 「もう少し、～すると、かっこいい（上手な）動きになるよ。」
  - 「やさしい動きからやってみよう。」
- こつ（葉）を見付けさせる
  - 「〇〇さんの動きを見てごらん。」
  - 「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな？」

### 学びに向かう力・人間性等

- 仲間の取組を認めさせる
  - 「〇〇さん、～さんがとっても上手に回しているよ、一緒にやってみよう。」
  - 「失敗しても諦めない〇〇さん、かっこいい!」（本人に対して）
  - 「〇〇さんは何度もチャレンジしているね。」（周りに目を向けさせる。）
  - 「誰とでも仲良くできる〇〇さん、すてき!」
- \*友達と一緒に運動（遊び）に取り組むことで、気持ちが弾んでくることを実感させたり、意欲が感じられたりするつぶやきや動きを取り上げて共感する。

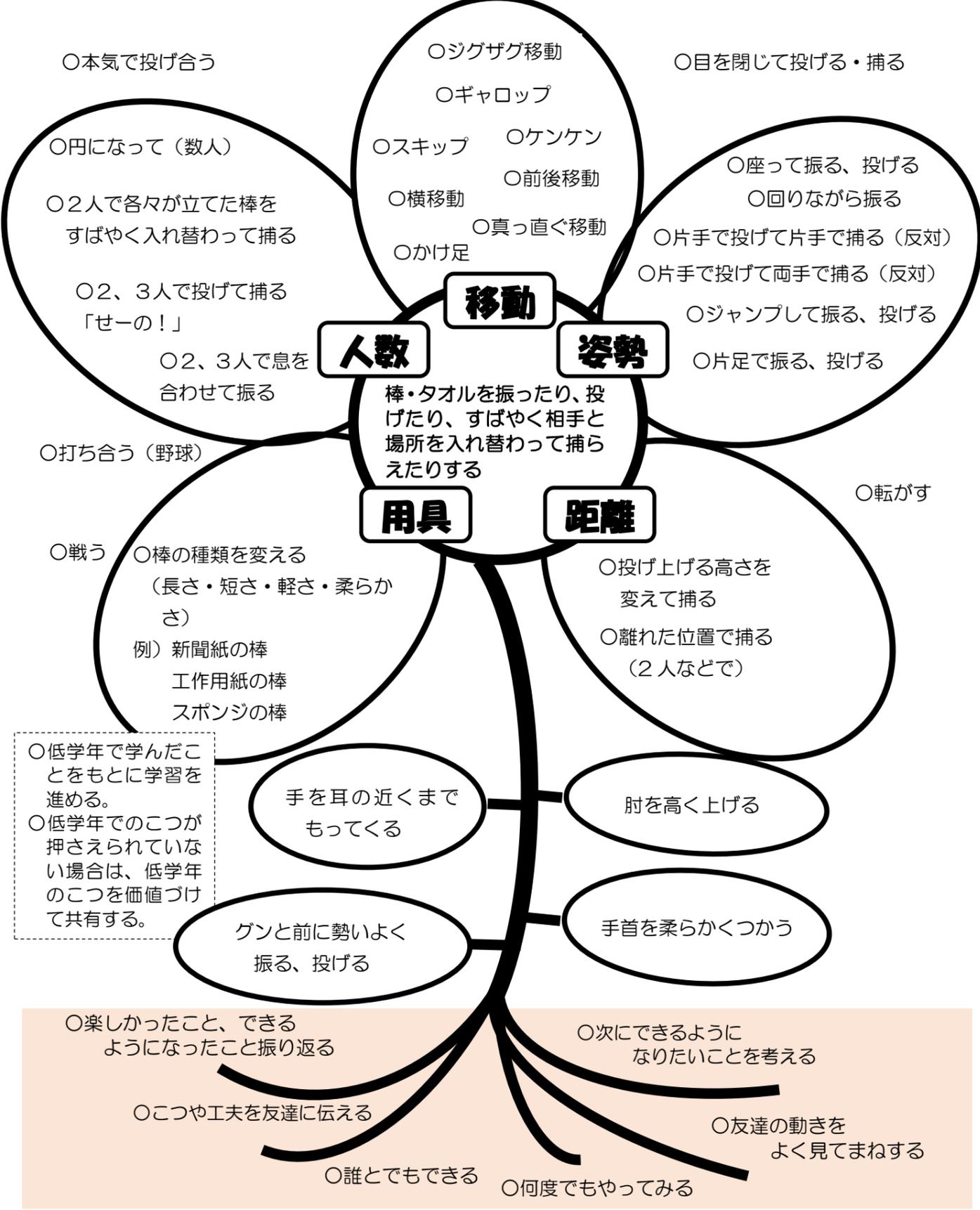
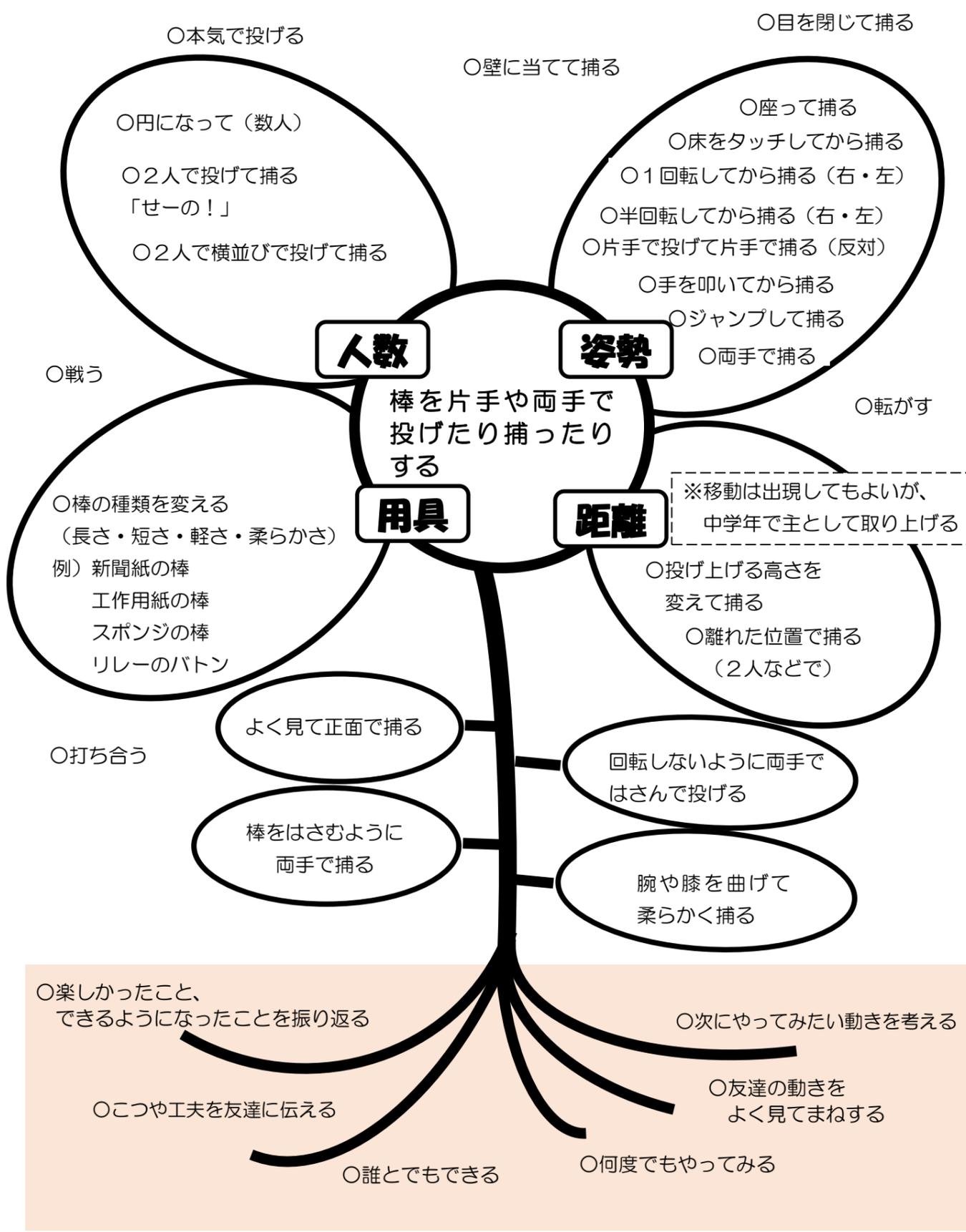
# よい動きの花 (棒・タオル)

中央…もとの動き (例示の動き)

花びら…行い方の工夫 葉…動きのこつ  
根…価値付けしたい姿

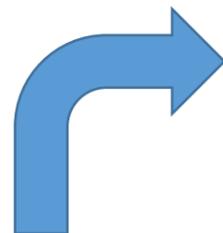
中央…もとの動き (例示の動き)

花びら…行い方の工夫 葉…動きのこつ  
根…価値付けしたい姿



# 授業ヒントシート

## 【輪・投げ上げて捕る】(中学年)



### まずは、児童全員をこの姿に!!

#### 知識及び運動 (花の中心・葉)

(中) 輪を相手に向かって投げたり、投げられた輪を捕ったりする。

※上の動きがぎこちなくても、できていればOK

#### 思考力・判断力・表現力等 (花びら)

- 運動の行い方を選んだり、工夫したりしている。
- 友達のよい動きを見付けたり、行い方を選んだりしたことを伝えている。
- 動きの組み合わせ方を選んでいる。

#### 学びに向かう力・人間性等 (根)

- 進んで運動に取り組んでいる。
- きまりを守り、誰とでも仲よく運動している。
- 場や用具の安全に気を付けている。
- 友達の考えを認めている。



### 得意な児童にはこうしよう!

#### 知識及び運動

- こつ(葉)を意識させる
  - 指先を投げたい方向に向ける
  - 腕や膝を曲げて柔らかく捕る
  - 投げてから捕るまで輪をよく見る
  - 手のひらを体の内側に向けて捕る

#### ●行い方の工夫(花びら)を広げる

- 人数を増やして  
「友達と一緒にやっごらん。」
- 姿勢や向きを変えて  
「手を叩いてから捕れる?」
- 用具を変えて  
「違う大きさの輪でもできる?」

#### 思考力・判断力・表現力等

- こつ(葉)を見付けさせる  
「どうしたら、もっと上手にできるかな?」  
「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな?」
- こつ(葉)を意識させる  
「〇〇さんが紹介してくれたこつをやってみよう。」  
「友達に何を教えてもらったらできたの?」
- 行い方(花びら)を工夫させる  
「〇〇さんは、こんな動きをしていたよ。」  
「～な動きはできるかな?」

#### 学びに向かう力・人間性等

- 他者に伝える力を付ける  
「〇〇さんができるようにするには何て伝えてあげたらいい?」  
「〇〇さんと□□さんは、アドバイス合っていていいね。」  
「〇〇さんにもこつを教えてあげよう。」
- 仲間の取組を認めさせる  
「〇〇さんの動きのいいところはどこだろう。」

### 苦手な児童にはこうしよう!

#### 知識及び運動

- こつ(葉)をつかませる言葉掛け
    - 輪を捕ることができない  
→「輪をよく見てみよう。」  
→「手のひらを体の内側に向けて捕ろう。」
  - できそうな動きを選択させる
    - 姿勢や向きを変えて  
→「まずは、両手で輪を捕ってみよう。」
    - 用具を変えて  
→「小さな(大きな)輪にしてみよう。」
    - 距離を変えて  
→「いろいろな高さで捕っごらん。」
- \* 輪の大きさ、重さ、などを変えて動きを易しくするなど配慮する。

#### 思考力・判断力・表現力等

- 行い方を修正させる  
「〇〇さんの動きを見てみよう。」  
「友達の良い動きを真似してみよう。」  
「もう少し～すると、かっこいい(上手な)動きになるよ。」  
「やさしい動きからやってみよう。」
- こつ(葉)を見付けさせる  
「〇〇さんの動きを見てごらん。」  
「〇〇さんは、どうしてあんなに上手にできているのかな?」

#### 学びに向かう力・人間性等

- 仲間の取組を認めさせる  
「〇〇さん、～さんがとっても上手に回しているよ、一緒にやってみよう。」  
「失敗しても諦めない〇〇さん、かっこいい!」(本人に対して)  
「〇〇さんは何度もチャレンジしているね。」(周りに目を向けさせる。)
- \* 友達と一緒に運動(遊び)に取り組むことで、気持ちが弾んでくることを実感させたり、意欲が感じられたりするつばやきや動きを取り上げて共感する。

# よい動きの花（輪を投げ上げて捕る）

中

中央…もとの動き（例示の動き） → 花びら…行い方の工夫 葉…動きのこつ  
根…価値付けしたい姿

